


未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4480
24年9月13日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

第13回九州地本定期大会開催



おはようございます。郵政ユニオン九州地方本部は、9月7日、福岡県労連会議室で「第13回定期大会」を開催しました。

各支部から代議員が出席し、長中局支部からも6人が出席しました。

最初に、米地執行委員長が「24春闘では、昨年引き続き多くの企業でベースアップが実現しました。マスコミは高額回答と大々的に報道しま

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。めげず、均等待遇、なぐさみ差別！ ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

したが、果たしてそうでしょうか。一定の成果はありますが、一昨年から続く物価高の上昇には追い付いておらず、労働者の生活が困窮している事

特に非正規社員への対応は、地域最低賃金が上がれば時間給も上がるので賃上げ回答はゼロと、雇い主としては無責任な対応に終始しています。

このため郵政グループで多くを占める非正規社員の処遇改善は、現状では地域最低賃金の引き上げが一番効果的です。

また春闘交渉の中では、日本郵政から社員の定期昇給の廃止や諸手当の改善など、新たな労働条件改悪の話があったとも言われています。

地本は組合員の労働条件を守り改善するため本部とともに交渉・運動を

取り組んでいきます」と挨拶しました。

その後、執行部より経過報告と会計報告、来年度の活動報告が提案され、討議に移りました。



○非正規社員の現状
物価上昇が止まらないなかで、集配営業部の約6割は非正規雇用で生活は苦しくなるばかり、そ

れなのに、24春闘においても「ゼロ回答」、酷すぎます。

私達は郵政最賃の大幅引き上げを求めます。また一時金0.3%、退職金はゼロでは募集しても人が集まらないし、直ぐに辞めてしまうのは、この様な会社側の姿勢が原因になっていると思

○郵便局窓口労働者の現状
郵便局の窓口では、営業に関する数字が強く言われるようになりました。実際には現場では、「ここはあなたの責任で個人実績の分をやって下さい」

2024年度 郵政ユニオン九州地方本部 役員体制

役職	氏名	所属
執行委員長	米地輝高	福岡中央
副執行委員長	原田芳博	長崎中央
書記長	田尻哲一	福岡西
執行委員	松野 浩	北九州中央
	村谷完二	福岡貯金
	前田節二	長崎中央
	谷瀬順治	玖珠郵便局
	佐田 剛	長崎中央
会計監査	山内みどり	長崎中央

などパワハラ発言ともいえる発言があつています。また1月から、業務改善命令の見直しに伴い報告を要しないようになりました。これ幸いといった感じで「高齢者募集の再開」を開始しました。

一時払い保険の募集に伴うものだと思われませんが、以前言われた「かんぽ問題」につながるの不安です。



議案討議のあと新たな執行体制を確立し、2024年度をスタート、団結ガンバローで大会を終了しました。

大会で出されたように、各職場では様々な問題がおきています。

郵政ユニオンは今年度も職場の様々な問題解決に向け取り組みを行います。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

